

2010 年 8 月 17 日

全日本空輸株式会社  
海外新聞普及株式会社

## 新商品「IEX JAPAN CONNECTION」が誕生！

～さらに速く、さらに便利に、羽田空港・那覇空港を中継基地として海外へお届けします～

ANA グループでは、昨年 10 月にオープンした沖縄貨物ハブを活用し、従来の 2 地点間輸送の次元を超え、沖縄の地理的優位性を活かしたお客様ニーズに最適な「時間価値」の提供へとビジネスモデルを進化させています。

この度 2010 年 9 月 1 日(水)より、ANA グループの一員である海外新聞普及株式会社(本社：東京都港区、社長：柴田 司 以下「OCS」という)では、日本各地とアジア域内主要都市を深夜貨物便でスピーディに結ぶエクスプレス新商品「IEX JAPAN CONNECTION」を発売致します。

また、2010 年 10 月 31 日(日)の羽田空港国際化に伴い、OCS の主力商品である IEX シリーズは、一部路線に羽田空港発着便を追加し、更なるリードタイムの短縮を図ります。

ますます便利になった ANA グループのエクスプレスサービスをぜひご利用下さい！

### 1. 地方からアジア主要都市へ、沖縄貨物ハブを利用してスピーディーにお届けします！

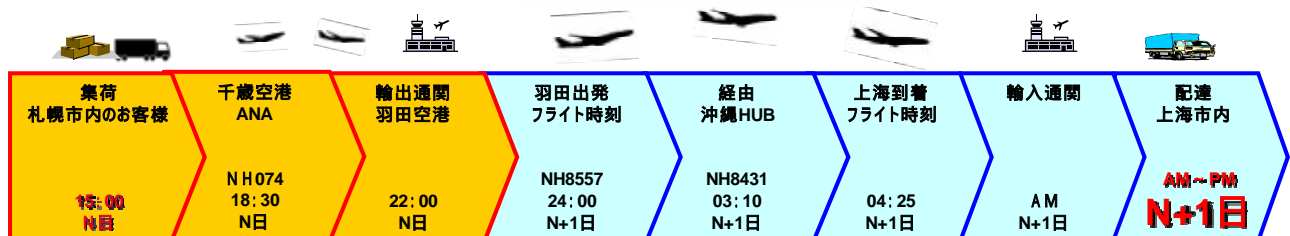
ANA グループの国内線ネットワークと沖縄貨物ハブネットワークを活用した新商品「IEX JAPAN CONNECTION」を投入し、国内各地\*1 からアジアへよりスピーディーにお届けします。従来から Door to Door サービスの商品として、「IEX」シリーズを展開しておりましたが、新商品「IEX JAPAN CONNECTION」では、従来よりも最大で 24 時間リードタイムを短縮し、これまで集荷日の翌々日以降配達していた貨物も、集荷日の翌日から荷受人様への配達も可能となります。また、お客様の所在地により、「IEX HOKKAIDO」、「IEX KYUSHU」など、覚えやすく、呼びやすいサブネームをつけているのも特徴です。

また、大口・高重量貨物輸送にも集荷から配送までの「Door to Door」で対応し、お客様のニーズに最大限お応えします。

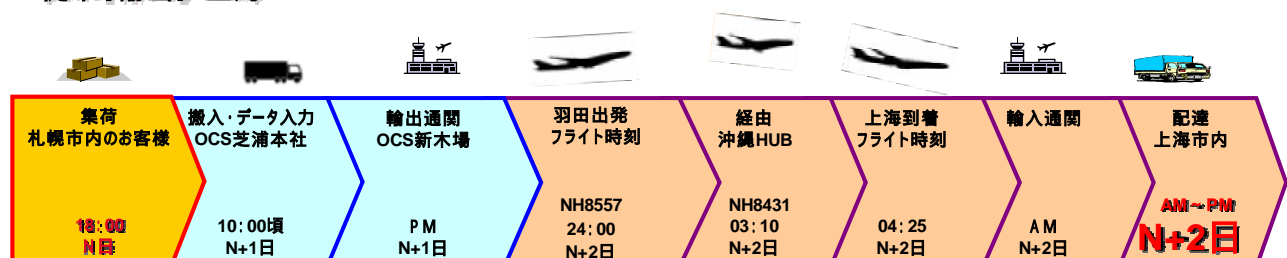
\*1 詳細については、別紙「OCS IEX JAPAN CONNECTION 展開予定都市」をご参照ください。

【新商品 IEX CONNECTION 使用例】

新商品【羽田同日便接続輸出】上海



従来【輸出】上海



## 2. 羽田空港から海外へ、スピーディーにお届けします！

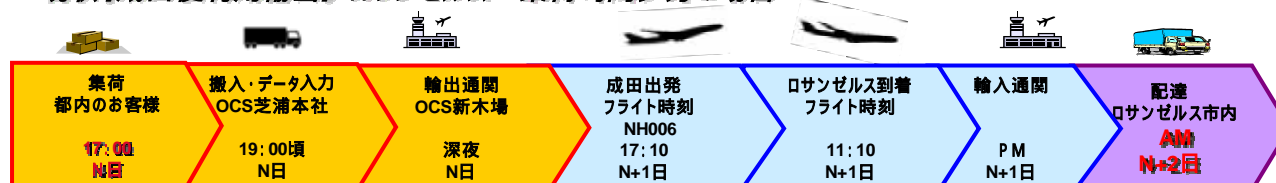
羽田空港の国際化に伴う ANA 羽田発着新路線(ロサンゼルス・シンガポール・バンコク・ホノルル)の展開により、貨物輸送ネットワークがさらに充実します。羽田発着新路線を活用することで、これまでより一層リードタイムを短縮することが可能となり、OCS の主力商品「IEX」シリーズがますます便利になります。

【IEX シリーズ(羽田空港利用便)使用例】

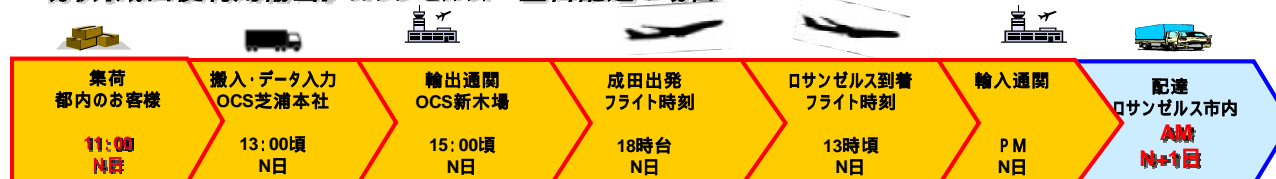
### 【羽田便利輸出】ロサンゼルス



### 現状【成田便利輸出】ロサンゼルス～集荷時間夕方の場合



### 現状【成田便利輸出】ロサンゼルス～翌日配達の場合



## 3. OCS ロゴ塗装機の就航！

ANA 貨物専用機(ボーイング 767-300 フレーター)に OCS の社名ロゴマークを施した塗装機が沖縄ハブネットワークに投入され、8 月 23 日(月)深夜より、羽田から那覇空港へ就航致します。海外新聞普及株式会社は、2010年9月1日(水)に社名を「株式会社OCS」へと変更いたします。新社名の象徴である「OCS」ロゴを ANA 貨物専用機に施し PR することにより、OCS ブランドを更に強固なものとし、企業価値の向上に繋げてまいります。

今後も ANA グループは、従来の事業領域の次元を超えて、これまでの「貨物スペース」の販売から、お客様に最適な「時間価値」の提供へとビジネスモデルを更に進化させていきます。これからの ANA グループの貨物事業にどうぞご期待ください。